



撮影者：滝沢市在住 嶋山 昇氏



## 年頭の挨拶

岩手県知事 達 増 拓 也

「令和七年度全国統一防火標語」

「この機関紙は、日本消防協会からの援助により発行しているものです」

急ぐ日も 足止め火を止め 準備よし

定価 1部60円  
 -発行所-  
 (公財) 岩手県消防協会  
 郵便番号 020-0021  
 盛岡市中央通3丁目  
 7番22号  
 電話 019(654)3991  
 FAX 019(654)3992  
 E-mail: isk@iwa-te-shokyo.jp

印刷所  
 盛岡市本町通2丁目  
 河北印刷株式会社

令和八年の新春を迎えるに当たり、公益財団法人岩手県消防協会の会員の皆様に御挨拶を申し上げます。

貴協会、消防職員及び消防団員の皆様には、日頃から、地域の安全・安心の確保と地域防災力の向上のため多大な御貢献をいただきており、心から敬意を表しますとともに深く感謝申し上げます。

近年、全国各地で大規模な災害が発生しており、本県では令和七年二月に、大船渡市で大規模な林野火災が発生し、全国各地の消防職員が集結して消防活動にあたっていました。

こうした災害時においては、消防職員、消防団員を始め女性消防協力隊などの方が人命や財産を守るために懸命に活動されており、日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震の発生も懸念されている中、安全に安心して暮らせる社会の実現を願う県民の消防に寄せる期待は、一層大きいものとなっています。

県では、令和五年度から令和八年度までを計画期間とする「いわて県民計画（2019～2028）」第二期アクションプランを策定し、取組を強化すべき四つの重点項目の一つに「安全・安心な地域づくりの推進」を掲げています。東日本大震災津波の教訓や新型コロナウイルス

令和八年の新春を迎えるに当たり、公益財団法人岩手県消防協会の会員の皆様に御挨拶を申し上げます。

貴協会、消防職員及び消防団員の皆様には、日頃から、地域の安全・安心の確保と地域防災力の向上のため多大な御貢献をいただきており、心から敬意を表しますとともに深く感謝申し上げます。

近年、全国各地で大規模な災害が発生しており、本県では令和七年二月に、大船渡市で大規模な林野火災が発生し、全国各地の消防職員が集結して消防活動にあたっていました。

こうした災害時においては、消防職員、消防団員を始め女性消防協力隊などの方が人命や財産を守るために懸命に活動されており、日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震の発生も懸念されている中、安全に安心して暮らせる社会の実現を願う県民の消防に寄せる期待は、一層大きいものとなっています。

県では、令和五年度から令和八年度までを計画期間とする「いわて県民計画（2019～2028）」第二期アクションプランを策定し、取組を強化すべき四つの重点項目の一つに「安全・安心な地域づくりの推進」を掲げています。東日本大震災津波の教訓や新型コロナウイルス

感染症対応の経験を十分に生かし、災害に強く安全で安心な暮らしを支える防災まちづくりや、国・県・市町村・防災機関が連携した防災・減災体制の整備などの取組を推進してまいります。その中でも、地域防災力の中核的な役割を果たす重要な存在である消防団員の加入促進を図るため、これまで消防団活動の充実強化につながる取組を支援してきたほか、特定の活動のみに参加する機能別団員制度の導入促進や、企業等の消防団活動への理解を促し、被用者の消防団への加入につなげるための「消防団協力事業者表示制度」、団員を応援する「いわて消防団応援の店」の登録の推進などに取り組んでいます。

また、女性消防職員の採用・入団の促進、女性消防職員の活躍・キャリア形成支援、女性消防団員の市町村の垣根を超えたネットワークづくりなどにより、消防の現場における男女共同参画の推進にも、引き続き取り組んでまいりますので、皆様には、今後ともなお一層の御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びになりますが、新年が災害のない希望に満ちた一年となりますこと、また、公益財団法人岩手県消防協会のますますの御発展と会員の皆様の御健勝、御多幸を祈念申し上げ、新年の挨拶といたします。

「消防岩手」はホームページから閲覧できます

岩手県消防協会

<https://iwa-te-shokyo.jp>



## 新年のご挨拶



(公財) 岩手県消防協会  
会長

高橋信博

令和八年の新春を迎え、消防関係者の皆様に謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

日ごろ、消防職員並びに消防団員の皆様方には、地域住民の安全・安心な暮らしを守るため、火災はもとよりあらゆる災害に対し、献身的に職務に精励されておられますことに心から敬意と感謝を申し上げます。

今日の消防は、火災予防、警防、救急救助をはじめ、地震や台風などの自然災害の対応まで広範囲にわたり、

地域住民の安全・安心の確保に大きな役割を果たしているところであります。

このようなかで、地域住民の防災への意識が高まるとともに、消防への期待もますます大きなものとなつております。

さて、令和七年二月に大船渡市で発生した林野火災は、平成以降の記録では国内で最大の焼失面積となりました。連日、乾燥・強風注意報が出される気象状況の中で、多くの住宅を巻き込みながら延焼拡大した大規模な火災であり、改めて消火活動の困難さを痛感したところです。

また、昨年の夏は全国的に猛暑が続き、命を守る暑さ対策が必要と連日のように言われたり、他国で発生した地震や火山の噴火により津波注意報や警報が発令されたりと、自然環境の変化とともに災害の複雑多様化、激甚化が進み、国内外で大規模な自然災害が相次

いで発生する中で近い将来、大規模地震の発生も危惧されております。

当協会といたしましては、過去の大規模災害の教訓を踏まえて、地域防災力の充実強化を更に推進して参らなければならぬと考えております。また、消防職員並びに消防団員の福利厚生事業の充実を図りつつ、消防の持つ使命の重要性を深く認識し、県民の安全・安心の確保のため、今後とも各種事業を積極的に推進して参る所存でございます。

どうか皆様におかれましても、心新たに安全で安心な地域づくりのため、なお一層のご尽力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、今年一年が平穏で晴らしの年でありますようご祈念申し上げますとともに、皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げまして、新年のご挨拶といたします。

## さまざまな環境変化のなか、 地域の安全を

—令和八年新春ごあいさつ—

(公財) 日本消防協会

会長

秋本敏文

防災組織、女性防火クラブなど消防関係の皆様は、県民の皆様の生命財産を守るため全力を尽くしてこられました。深く感謝申し上げ、心から敬意を表します。

近年、地球環境の変化を背景に、これまでと異なる、大規模な災害が国内だけでなく世界各地で発生しています。また、地域社会の様子も少子化、人口減など変わつてまいりました。そのようななかで、消防がその使命を果たしていくためには、消防団員の確保、装備の改善、地域の実情に応じた防災基盤の整備が必要です。さらに、具体的な活動展開に当たっては、気象状況、災害・被害等の広範な情報の把握、活用も必要です。

そして、地域の皆さん総参加総活躍の地域防災体制の確保、日頃からの訓練、団結も大事です。本当にいろいろなことが必要でしょう。このように考えてまいりますと、消防関係の皆様のご苦心ご苦労は益々大きくなつてまいります。

新年おめでとうございます。今年はあの東日本大震災から十五年目ですが、今年がどのような年になるか、最近の災害の様子などを見ておりますと、気がかりになるかと思われますが、岩手県各地、無事平穏でありますようお祈りいたします。

岩手県では、これまでいろいろな災害を体験しておられ、その都度、県下の消防職員、消防団員、自主

ご協力を頂いて十年がかりで完成しました、新しい日本消防会館の日本消防防災情報センターの活用などにより、ご協力を頂きました皆様への感謝の気持ちを込めて、日本消防の一層の発展に貢献できるように努力してまいります。

最後に、県下の無事平穀、消防関係の皆様のお元気なご活躍を心からお祈り申し上げまして新年のごあいさつとさせて頂きます。



## 年頭の辞



総務省消防庁

長官  
大沢  
博

令和八年の新春を迎えるに当たり、全国の消防関係者の皆様に謹んで年頭の御挨拶を申し上げます。皆様には、平素から消防防災活動や消防関係業務などに御尽力いただきており、心から敬意を表し、深く感謝申し上げます。

昨年は、岩手県大船渡市や愛媛県今治市などにおける林野火災、八月以降は広域で線状降水帯による大雨や台風の被害、さらに十一月には、大分市において大規模火災が発生するなど、日本各地で災害が相次ぎました。お亡くなりになられた方々の御冥福をお祈りするとともに、被災された方々に心からお見舞い申し上げます。

災害現場においては、被災地の消防本部や地元消防団はもとより、被災状況によっては県内外の消防応援隊や緊急消防援助隊も総力を挙げて国民の生命、身体及び財産を守るため最前線での活動等に当たっていました。



岩手県消防長会  
会長  
瀬川浩樹

令和八年の輝かしい新春を迎え、県内消防関係者の皆様に謹んで新年のお慶びを申し上げます。

令和八年の安全・安心を確保するため、昼夜を問わず献身的に御尽力されておりますことに、衷心より敬意を表しますとともに、深く感謝を申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、台風や線状降水帯による河川の氾濫、浸水被害、土砂災害などの住民の命

だきました。改めて皆様の御活躍・御尽力に敬意を表しますとともに、心から御礼申し上げます。

また、令和六年は救急出動件数、搬送人員ともに過去最多となり、令和七年は記録的な猛暑のため、熱中症患者の搬送も過去最多となりました。そうした過酷な救急の現場においても、日々、献身的に御対応いただいていますことに感謝申し上げます。

近年、災害が激甚化・頻発化しており、「南海トラフ地震」、「首都直下地震」などの発生が危惧される中、国民の生命、身体及び財産を守る消防の果たす役割は、より一層重要なものとなっています。

消防庁では、国民の皆様が引き続き安心して暮らせるよう、緊急消防援助隊や常備消防、消防団の充実強化をはじめ消防分野におけるDX・新技術の研究開発の推進などを柱とし、消防防災力の強化に取り組みます。

とりわけ、大規模災害対応の要である緊急消防援助隊については、創設から三十年を迎え、今後発生が懸念される「南海トラフ地震」等の大規模災害に備えて、緊急消防援助隊出動の際に、情報収集・映像送信の任務を行う消防庁ヘリコプターを増機するとともに、令和四年度以来となる全国合同訓練の開催、緊急消防援助隊受援アドバイザーの派遣、緊急消防援助隊への救助技術の高度化及び普及を計画的に進めてまいります。

また、団員減少が危機的な状況にある消防団について

ては、引き続き、装備や資機材の充実強化に取り組むとともに、女性や若者をはじめとする幅広い住民の消防団への入団を促進するため、モデル事業による支援、自治体等と連携した広報などを行います。

さらに、消防分野におけるDX・新技術の研究開発の推進については、競争的研究費の拡充による、災害の検証結果を踏まえた緊急的な課題解決に資する研究開発の推進をはじめとし、消防の現場ニーズと企業等の技術シーズのマッチング促進、マイナ救援の全国展開・機能拡充や消防団におけるドローンの活用などを推進してまいります。

消防庁では、沖縄県の先島5市町村のうち、竹富町、多良間村における特定臨時避難施設（シェルター）の整備を支援するほか、地方公共団体と連携した住民避難訓練の実施や避難施設の指定促進に取り組むとともに、Jアラートの新システムへの更改を進めてまいります。

皆様方におかれましては、国民が安心して暮らせる安全な地域づくりとそれを支える我が国の消防防災・危機管理体制の更なる発展のため、より一層の御支援と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、皆様の益々の御健勝と御発展を祈念いたしまして、年頭の挨拶とさせていただきます。

私達消防に携わる者といたしましては、日頃から地域に密着し、火災や大規模自然災害が発生した際に大きな役割を果たす消防団員の確保をはじめ、これまで以上に迅速かつ的確な災害対応を可能とする広域的な応援体制の整備など、今後ともあらゆる災害に即応できる消防防災体制の充実を図り、地域住民の信頼と負託に応える必要があります。

皆様方におかれましては、県民が安心して安全に暮らせる災害に強い街づくりのため、誇り高い消防の使命の下、引き続き御尽力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、公益財団法人岩手県消防協会の益々の御發展と皆様方の御健勝と御多幸、そして、本年が災害のない平穏無事な一年となりますことを心から祈念申し上げまして、年頭の御挨拶といたします。



“いわて消防団応援の店” 利用できます！

いわて消防団応援の店 登録店募集!!

問合せ先 ● 岩手県復興防災部消防安全課



ここからアクセス

謹賀新年

本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます

（公財）岩手県消防協会 しくお願ひ申し上げます

